

日本医療情報学会看護部会 第4回看護業務支援デバイス研究会
「看護業務におけるA IとI o Tへの“任せすぎ”を考える」

日本医療情報学会看護部会
看護業務支援デバイスWG

病院DXが進む中で、看護分野においても様々な製品が誕生しました。こうした製品群が増え、現場の選択肢が増えることを歓迎すべきことは言うまでもありません。他方で、過度なI o T製品によって人間的にも無線技術的にも過大な情報量となったり、人が考えるべきことを必要以上にA Iに委ねるという「オーバートリアージ現象」も起こり得る状況になるなど、これらの製品群の適正利用のあり方を考え直す時期に来ていることも事実です。

実際、医療情報学の国際会議”MEDINFO2025@Taipei”においては、こうした技術の適正利用も大きな話題の一つとなり、プレコンgresである”Nursing Informatics Day”においては、看護業務の特性に照らしたAI倫理が大きなテーマとなりました。

本WGでは、看護におけるこうした話題をMEDINFOの開催地である台湾の関係団体とも共有し、今後継続して議論していきたいと考えています。こうした問題意識をもとに、「看護業務におけるA IとI o Tへの“任せすぎ”を考える」について課題の洗い出しを行いたいと考えています。

日 時 : 2025年9月6日(土) 14:00~16:00 (情報交換会 17:00~)

場 所 : アクセア心斎橋 第2貸会議室(心斎橋東急ビル4F)

対 象 : 看護師もしくは医療情報技師の方

※本研究会は、参加者とのディスカッションを前提とした少人数の会です。上記に該当しない方については、予めご相談ください。

プログラム:

話題提供1 看護業務にIoT/AIツールを導入する際の留意事項
瀬戸 僚馬(東京医療保健大学)

話題提供2 看護業務への適切なA I利用に向けて
井關 博喜(洛和会ヘルスケアシステム)

話題提供3 看護業務への適切なI o T利用に向けて
石田 開(湘南工科大学)

話題提供者と参加者とのディスカッション

申 込 : 前日までに、申し込みフォームからご連絡ください(参加費はかかりません)。

<https://forms.gle/yPmgbelhmZemqgif7>

※医療情報技師資格更新制度2ポイント対象

連絡先 : 日本医療情報学会看護部会看護業務支援デバイスWG

WG長 瀬戸 僚馬(東京医療保健大学)

E-mail r-seto@thcu.ac.jp